

平成23年度みやぎっ子ルルブル推進優良活動 表彰団体一覧

部門	No.	団体名	主な活動内容・成果など
保育所・幼稚園	1	仙台市愛子保育所 仙台市熊ヶ根保育所 仙台市落合保育所	平成16年度から近隣の3保育所が合同で「園児の家族の現状や保護者が求める支援」について調査研究を行い、年齢別に食事や遊びなどの子育てに役立つリーフレットを作成しました。このリーフレットは地域の保護者・保育関係者にも幅広く活用されています。リーフレットの内容は常に更新され、子どもや親の行動の変容も見られるようになりました。
	2	利府町立菅谷台保育所	食材の地元生産者と連携した体験型食育活動を進める中で、給食の野菜等を残さず食べる園児が増え、食事のマナーにも気をつけるようになりました。家庭へのアンケートの結果からも、基本的な生活習慣の改善が見られます。
	3	登米市立米山西幼稚園	各種栽培活動を中心とした食育活動と環境を生かした外遊びの推進に取り組んでいます。食育や生活習慣について、定期的に家庭に情報提供し、家庭ぐるみで取組を進めた結果、好き嫌いが少なくなり、外で元気に遊ぶ園児も増えました。
	4	学校法人桂林学園 穀町幼稚園	年間計画の下、体系的に食育や外遊びの励行に取り組んでいます。特に外遊びについては、7年前から毎週水曜日に体育講師が中心となった取組を実施しています。また、基本的な生活習慣に関する保護者アンケートを実施し、この結果をもとに、保護者会において改善方法について個別にアドバイスしています。
小学校・中学校	1	角田市立東根小学校	学校とPTAが連携し、あいさつや早ね・早おき・朝ごはんなどを内容とする「東根っ子の7カ条」を作成し、生活習慣の確立に向けた取組を行っています。地域との連携を図りながら食育の推進にも取り組んでいて、好き嫌いが減るなどの成果も見られています。
	2	七ヶ宿町立関小学校	学年を越えた活動を取り入れながら、スキーや登山などの自然環境を生かした体力作りに取り組んでいます。また、地域との連携を図りながら食育の推進にも取り組んでいます。その結果、運動の日常化や偏食の改善などの成果に結びついています。
	3	富谷町立日吉台小学校	基本的な生活習慣の確立を学校の教育課題の一つに位置付け、ルルブル推進委員会を設立し、児童の実態調査を年2回実施しながら、ルルブル推進の意図や具体的な進め方について保護者に説明や協力要請を行っています。調査結果から、朝食をしっかりと摂り、早寝早起きの習慣を身に付けた児童が増えてきています。
	4	大崎市立鹿島台小学校	PTAや地域との連携を図りながら「早ね早起き朝ごはん」運動と食育教育の推進に取り組んでいます。特に、実態調査において、主食とおかずといった朝ごはんの質まで問うなど、望ましい食習慣の確立に取り組んでいて、朝食を毎日食べてくる児童が増えてきています。
	5	栗原市立畑岡小学校	家庭や地域と連携を図りながら「早寝・早起き・朝ごはん運動」に7年間継続して取り組んでいます。また、親子の触れ合う時間の確保のために「ノーゲーム・ノーテレビデー」にも取り組んでいます。その結果、早寝、朝ごはん、外遊びにおける成果が出てきています。
	6	南三陸町立入谷小学校	本推進会議の設立後に「入谷っ子ルルブル運動」を開始し、「みやぎっ子！元気アップエクササイズ」の取組や長期休業中における「ルルブルチャレンジカード」の活用などでルルブル推進の自校化を図っています。その結果、体を動かすきっかけ作りや長期休業中の望ましい生活リズムの維持につながっています。
	7	仙台市立高砂小学校	「早寝・早起き・朝ごはん・あいさつ」運動を学校・地域・家庭三者の最重点目標に掲げて取り組んでいます。食育では地域の野菜農家の協力を得ながら植栽活動を実施したり、挨拶運動では地域の見守り隊とともに進めたりするなどの取組によって着実に地域の信頼を得てきています。また、家庭での日常生活習慣の様子を保護者が評価するなど、家庭との連携も図りながら取り組んでいます。
	8	大崎市立田尻中学校	校内菜園で収穫した野菜を給食のメニューに取り入れるなどの食育推進と、部活動毎による朝の挨拶運動に取り組んでいます。挨拶運動は部活動と学年単位で生徒1人が月2回参加し、全校体制で取り組み、地域でも大きな声で挨拶をする生徒が増えてきています。また、生活・学習調査を年2～3回実施し、親と生徒の意識改革に向けた啓発を定期的に行っています。
	9	仙台市立富沢中学校	富沢市民センターや学校支援地域本部、地域の企業、農家などと連携を図りながら食育を推進し、アンケートの結果から食生活の改善が見られています。また、「挨拶運動」は生徒会が率先して小学校や地域に呼びかける啓発活動を行い、地域住民の中学校への信頼度が高まってきています。
企業・団体	1	JAみどりの 田尻産直委員会	年間を通して親子での食育体験を行い、参加者が生産者として米や野菜などを作り、自然の恵みへの感謝と命の大切さ、収穫の喜びを実感しています。親子でトンボやメダカなどの童謡や民謡に唄われた生物と直にふれあい、昔の子どもの遊びを再生させるとともに、農作業を通じた運動機会の拡大につながっています。